

# 愛媛県南予地域における観光MaaS実証実験

※申請者:5団体連名(KDDI、南予広域連携観光交流推進協議会、伊予鉄南予バス、全日本空輸、瀬戸内ブランドコーポレーション)

## 【1】実験の概要

NFCタグを活用したアプリ不要な観光型MaaS実証実験を実施し、広域版デジタルフリーパス(鉄道、バス、船舶、観光施設等)のキャッシュレス決済を実現する。また、農産品直売所、保険業、飲食業等、航空運輸業、ホテル業と連携し、情報や決済サービスを一体提供することにより、交通のODデータに加え、観光客の周遊・決済データを収集・分析を行う。得られたデータ、知見は協議会構成員が把握し、今後の観光客誘致、交通ネットワーク再構築、まちづくりの参考資料として活用する。

## 【2】協議会構成員、役割

| ※採後設立                                                   |                 | 構成員 ※5団体連名で申請   | 主な役割             |
|---------------------------------------------------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 南予MaaS実証実験協議会                                           | KDDI株式会社（幹事）    |                 | 全体総括、企画、MaaS基盤構築 |
|                                                         | 南予広域連携観光交流推進協議会 |                 | 域内自治体、企業連携推進等    |
|                                                         | 愛媛県南予地方局        |                 | 域内親自治体とりまとめ      |
|                                                         | 南予9市町＊          |                 | 観光政策、まちづくりとの連携等  |
|                                                         | 四国旅客鉄道株式会社      |                 | フリーパス造成、販売       |
|                                                         | 伊予鉄バス株式会社       |                 | 空港リムジンバス等の連携     |
|                                                         | 宇和島自動車株式会社      |                 | 路線バス等の連携         |
|                                                         | 一般社団法人愛媛県観光物産協会 |                 | 特産品魅力発信、PR等      |
|                                                         | 伊予鉄南予バス株式会社     |                 | 路線バス等の連携         |
|                                                         | 全日本空輸株式会社       |                 | アプリ間データ連携、PR等    |
| 株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション                                     |                 | 広域PR、域内事業者利用促進等 |                  |
| オブザーバー 一般社団法人愛媛県バス協会（実証実験における助言、各種支援等）                  |                 |                 |                  |
| その他、石崎汽船株式会社、瀬戸内海汽船株式会社も参画協議中                           |                 |                 |                  |
| ＊南予9市町：宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町            |                 |                 |                  |
| ※愛媛県とKDDI（幹事）は、地域課題解決に向け、相互連携をより一層深めるべく、本実証実験採択後に協定締結予定 |                 |                 |                  |

## 【3】MaaSで解決したい地域の課題、対応策、目標

### 1) 課題と対応策

| 解決したい課題                        | 課題の要因             | 対応策                                                  |
|--------------------------------|-------------------|------------------------------------------------------|
| 公共交通機関の低い利用率                   | 平日、休日、時間帯の繁閑差     | 鉄道、バス横断の周遊チケット販売による観光客誘致                             |
|                                | 乗り継ぎ利便性の不足        | 乗り継ぎに関する情報提供                                         |
| 路線維持のために必要な自治体コストの削減           | ODデータに基づいた適正化の未実施 | NFCタグによるOD把握分析                                       |
|                                | 公共交通データの可視化不足     | GTFSに沿った路線データの整備<br>NFCとクラウドを組み合わせた簡易MaaSによるキャッシュレス化 |
| 交通、観光施設に対して安価なキャッシュレス決済基盤の整備不足 | キャッシュレス未対応        | 乗り継ぎ数に沿ったペネフィットの提供                                   |
|                                | 投資コストの重さ          | 農産物物販施設との連携                                          |
| 西日本豪雨からの経済復興                   | 観光客数の回復遅れ         |                                                      |
|                                | 観光消費額の回復遅れ        |                                                      |

### 2) 目標

- ・フリーパス販売枚数:3,000枚(内ANA利用の松山空港来訪者からの送客数:30件)
- ・平均周遊箇所数:1.25倍(紙のきっぷの利用者との比較)
- ・利用者満足度:3.5以上(利用者アンケートから集計。5段階評価)
- ・損害保険加入率(送客率):1.0%以上(既存の送客手段の平均送客率との比較)

## 【4】実験概要

### 1) 実施時期、対象地域、交通手段

実証期間:2020年10月~12月を予定

対象地域:愛媛県南予地域※宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町、松山市、広島市、呉市

交通手段:鉄道(JR四国)、路線バス(伊予鉄バス、伊予鉄南予バス、宇和島自動車)

【協議中】石崎汽船、瀬戸内海汽船 ※松山観光港、呉、広島

### 2) 実証実験の内容

#### ①NFCを活用したアプリダウンロード不要で利便性の高い観光型MaaSの実現

【概要】複数交通モード及び域内の観光施設で利用可能な広域版デジタルフリーパスを提供。加えて、公共交通乗継数に応じて特典を進呈する周遊促進策を実施し、公共交通での観光と域内消費を促進。

【検証事項】NFCを活用したMaaS実現による利便性、持続可能性を検証。

#### ②観光施設、農業、小売、保険、飲食等との異業種連携による付加価値創出

【概要】NFCタグを活用し農産品直売所等で地域特産品の魅力発信や決済サービスを提供し、販売促進。加えて、保険業(自転車保険、国内旅行保険)、飲食業等の異業種と連携し、情報提供や決済サービスを一体提供し、付加価値創出及び異業種への送客モデルを構築。

【検証事項】観光施設、農業、保険、飲食等へ誘導し行動変容、送客モデルを検証。

#### ③アプリ間データ連携、動態把握による交通・都市政策への活用

【概要】ANAアプリ等とのデータ連携により顧客属性レコメンドを実施。また、本実証で収集したODや周遊データと、商用の人流ビッグデータとの比較等により得られたデータを今後の観光客誘致、交通ネットワーク再構築、まちづくり等の参考資料とする。

【検証事項】アプリ間連携のメリット/コストの分析・他の人流動態データとの比較検証。

### 3) 本実証の位置付け

- ・持続可能性を重視しており、本年度の開発コストを調達できれば、21年以降は地域で自立可能となる損益分岐点への到達を目指す。
- ・21、22年度で県、JRとの大型イベントと連携予定。

|        |                                                               |
|--------|---------------------------------------------------------------|
| 2020年度 | 本取組の有用性確認、21年度大型イベント連携準備                                      |
| 2021年度 | いやしの南予・復興イベント(仮称)(7-12月)との連携<br>JRデスティネーションキャンペーン(10・12月)との連携 |
| 2022年度 | 第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック)との連携                                 |

### <サービスイメージ>

